

— やえがきたより —

令和4年8月号



発行

東部農業事務所家畜保健衛生課
(東部家畜保健衛生所)

〒373-0805

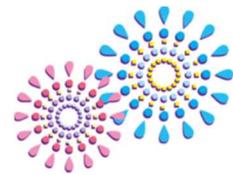
群馬県太田市八重笠町361-3

電話：0276-45-2041

FAX：0276-45-9994

＜ 記事の内容 ＞

- ・ 豚熱を発生させないために井戸水は消毒をしてください！
- ・ 子豚への豚熱ワクチン接種適期について
- ・ 夏季休暇期間中におけるアフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱等の防疫対策の徹底について
- ・ 今シーズンも高病原性鳥インフルエンザの国内発生リスクは高いです！
- ・ BVD検査について
- ・ 暑さ対策していますか？
- ・ お盆期間中の死亡牛BSE検査受付について
- ・ 東部地域から和牛全共の群馬県代表牛が決定！！
- ・ 畜産共進会開催のお知らせ



＜ 添付資料 ＞ *対象畜種あて同封しています

- ・ 埋却地を確保するために農地を用いることが可能です（共通）
- ・ アジアにおける口蹄疫の発生状況（牛・豚）
- ・ アジアにおけるアフリカ豚熱の発生状況（豚）
- ・ 高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況（鶏）
- ・ 欧州における高病原性鳥インフルエンザの発生状況（鶏）
- ・ 乳房炎の発生防止に努めましょう！（乳牛）



夏季休暇期間中におけるアフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱等の防疫対策の徹底について

新型コロナウイルス（COVID-19）については、6月1日以降、一部の国・地域からの入国者に対する入国時検査の免除等がなされたことから、アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域からの人・モノの移動が増加することが予想されます。緊張感を緩めることなく、防疫対策に万全を期すよう、お願いいたします。

1. 海外への渡航は自粛を！

アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域への不要不急の渡航は自粛をお願いします。

＜海外での発生状況＞＊別添参照

○口蹄疫：依然としてアジアで広く発生しています。

直近では…：本年5月以降、インドネシアにおいて複数件報告（1983年以來）され、7月にはバリ島においても発生が確認されています。

○アフリカ豚熱：ヨーロッパ及びアジア（日本、台湾等の一部の国・地域を除く）地域において発生が拡大。本年5月にイタリアのローマ近郊の野生イノシシで、6月にはイタリア本土で発生（飼養豚では初）が確認されました。

2. 衛生管理区域・畜舎内へ病原体を入れないために

○衛生管理区域に立ち入る際は専用の手袋・長靴の着用、手指の消毒。ものを持ち込む場合には、当該物品の消毒を。

○踏み込み消毒槽の薬液は、汚れていなくても少なくとも1日に1回は交換。

○畜舎等へ出入りする際の動線：清浄な衣服や機材を汚染させないために、動きが交差しないよう動線を適切に確保し、明確に区分。

○上記対策を従業員や関係者が徹底するよう、マニュアルの整備や周知。

○野生動物の侵入対策：防護柵、防鳥ネット、壁・天井を定期的に点検。破損等を確認した際には速やかに修繕。

3. 毎日の健康観察と早期発見・早期通報

改めて、アフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱の特定症状をご確認ください。毎日の健康観察を入念に行うとともに、疑わしい症状を発見した際には速やかに家畜保健衛生所へ通報してください。従業員がいる場合には、農場内の連絡体制についても確認をお願いします。

＜特定症状について＞

○豚熱

特徴的な症状はありません。発熱・死亡頭数増加・結膜炎・チアノーゼなど。



○アフリカ豚熱

症状は多岐にわたります。甚急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。



〇〇蹄疫

牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に泡状のよだれを流したり、口、ひづめ、乳房に水疱がでたりするのが特徴です。



 豚熱を発生させないために井戸水は消毒をしてください！

群馬県内の発生事例の共通点

1. 未消毒の井戸水を豚に給与していた。
2. 農場は、豚熱感染イノシシが確認されている山林、農地等からの雨水排水が入りやすい場所に立地していた。（雨水排水の流入に意識が向いていなかった。）
3. 発生前14～20日前にまとまった降雨があり、農場内の井戸に排水が流入した可能性あり。

深い井戸（60～70m）でも、構造上、表層の水が浸透して含まれる可能性があり、豚熱ウイルスを含んでいるリスクがあります。豚の飲用水は必ず消毒しましょう。

井戸水の配管に取り付ける次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプなどを利用し、安全な水を給与しましょう。

また、道路側溝の清掃等、農場外からの雨水流入防止対策を行いましょう。



管内の養豚農場が設置した
次亜塩素酸ナトリウム注入装置



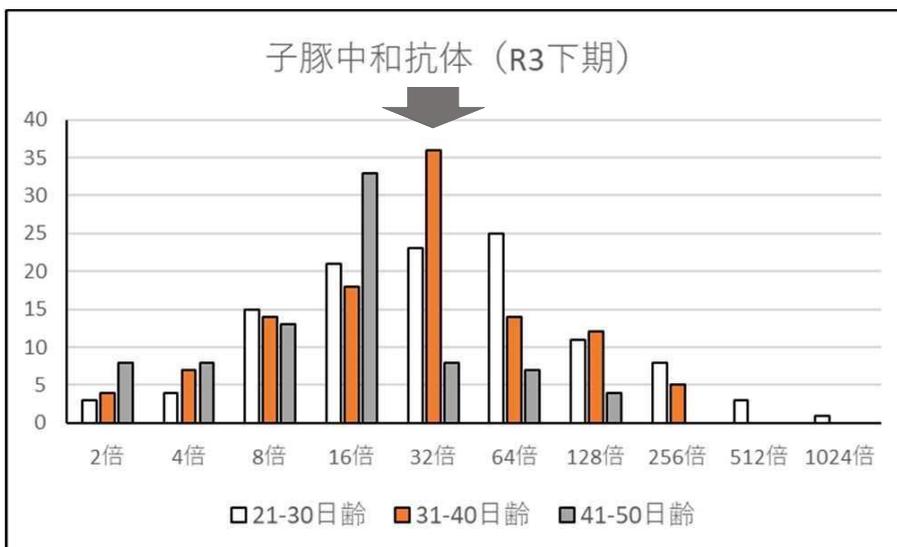
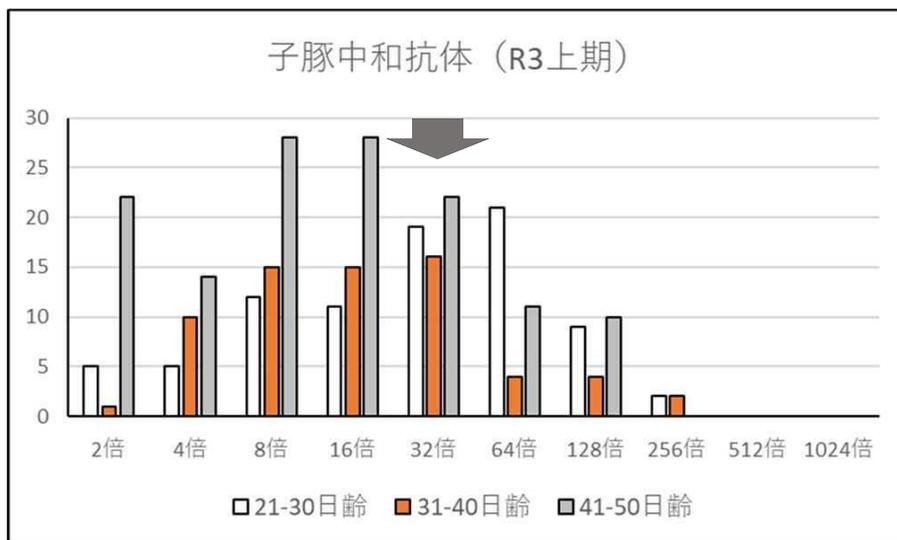
子豚への豚熱ワクチン接種適期について

令和3年度の県内の豚熱抗体調査では、繁殖母豚の抗体価のバラツキが大きくなっており、それに伴い子豚の移行抗体のなくなる時期も農場によって違いが大きくなっています。

下のグラフでも、41-50日齢で中和抗体価が128倍の個体がいったり、21-30日齢で2倍の個体がいったりと、接種適期を一律に決めることが難しい状態です。また、農水省の牛豚等疾病小委員会でも、全国的に同様の傾向が見られるため、子豚のワクチン接種適期については農場ごとに母豚や子豚の抗体検査を実施して適切な接種日齢を検討することが望ましいとされています。

接種時期はあまり早すぎても移行抗体の影響でワクチンの効果がなくなってしまいます。また、遅すぎても抗体のない期間が出来てしまうので、感染のリスクが高まります（移行抗体が中和抗体価で16倍以下の子豚では豚熱に感染してしまいます！）。接種時期の目安はELISA抗体では抗体陰性の個体が50%以上となる日齢、中和抗体では32倍前後の個体が50%以上となる日齢です。

管内でも肥育豚での免疫状態が低い農場が見られ、離乳豚だけでなく農場全体として豚熱感染のリスクが高くなってしまっています。このような農場では早急にワクチン接種日齢の再検討が必要です。



今シーズンも高病原性鳥インフルエンザの国内発生リスクは高いです！

国内においては、昨年11月から今年5月にかけて、12道県25事例の高病原性鳥インフルエンザが発生し、計189万羽が殺処分されました。海外においてもアジア、欧州で多くの発生がありました。

今シーズンも欧州では、6、7月にも高病原性鳥インフルエンザが発生しています。世界的に発生が続いていることから、今シーズンも国内における高病原性鳥インフルエンザの発生リスクが高いことが推察されます（*別添参照）。

改めまして、飼養衛生管理基準の再徹底をお願いいたします。

BVD 検査について

牛の伝染性疾病である「牛ウイルス性下痢（BVD）」は、死流産や繁殖成績の低下など生産性に多大な影響を及ぼし、近年の摘発件数が全国的に増加しています。また、BVDの持続感染牛（PI牛）は、農場内で継続的にウイルスを排泄し、他の牛への感染や新たなPI牛産出の原因となります。

本県では、今年度も県内全域での全戸検査を県央クールステーション（CS）、および組合CSに搬入される生乳で実施しています。生産者ならびに酪農団体の皆様のご理解とご協力をお願いします。令和4年度の第一回目の検査については7月末および8月初めに実施しました。

検査で陽性が判明した農場へは、当所から速やかに連絡させていただきますので、ご承知おきください。

搾乳牛については、この方法でPI牛の摘発ができますが、育成牛や乾乳牛については個別に検査（1頭：1,290円）を実施する必要があります。

詳細については、家畜保健衛生所にお問い合わせください。

暑さ対策していますか？

暑熱ストレスから家畜を守り、生産性の維持・向上をはかるためにも、暑熱対策に取り組み、猛暑の夏を乗り切りましょう。

ポイント

- 日除け（寒冷紗、よしず、蔓性植物等の利用）をしましょう。
- 屋根や壁からの放熱量を減らすため、畜舎内や屋根へ散水しましょう。
また、屋根に石灰乳を塗り白くするのも、太陽光を反射するので効果的です。
- 換気扇や送風ダクトによる送風で熱気を追い出し、新しい空気を取り入れましょう。
- できるだけ、密飼いにしないようにしましょう。
- 消化のよい良質飼料、新鮮な水を十分与えましょう。
給餌は涼しい夜間に量を多くしましょう。
- 家畜に異常がないか、よく観察しましょう。



※ 暑熱により家畜に被害があった場合は、家畜保健衛生所までご連絡ください。



お盆期間中の死亡牛BSE検査受付について

家畜衛生研究所では、以下の①～③の条件に当てはまる死亡牛についてBSE検査を実施しています。

今年度に入り、検査対象月齢の96ヶ月齢を超えた死亡牛が検査未受験となる事例が発生しました。死亡牛発生時には、いま一度、検査対象牛かどうかの確認を行って搬出するようご注意ください。

《検査対象》

- ① 96か月齢以上の死亡牛
- ② 生前に歩行困難、起立不能等であった48か月齢以上の死亡牛
- ③ BSEを疑う症状のあった全月齢の死亡牛

夏場に死亡した牛は高温により腐敗が短時間で進行します。牛が死亡したら、迅速に輸送業者へ連絡、または自己搬入をお願いします。
お盆期間中の検査受付は次のとおりです。

	8月			
	13日	14日	15日	16日
	(土)	(日)	(月)	(火)
家畜衛生研究所	受付あり	×	受付あり	受付あり

※ 家畜衛生研究所 受付時間：9：00～16：00
電話番号：027-288-2106

東部地域から和牛全共の群馬県代表牛が決定！

令和4年7月6日に第12回全国和牛能力共進会（種牛の部）群馬県最終予選会が渋川家畜市場で開催され、群馬県代表牛が決定されました。

東部地域からは、第3区（若雌の2）で、太田市山田弘之氏飼養の「ばんだい1149」が代表牛として選出されました。

また、第8区（肉牛の部）は8月上旬に最終予選会が巡回審査で開催され、中旬には決定される見込みです。

第12回全国和牛能力共進会（種牛の部）群馬県代表牛

	名 号	飼 養 者	市町村等
第2区（若雌の1）	たけい3の13	武井 賢一	沼田市
第3区（若雌の2）	ばんだい1149	山田 弘之	太田市
第5区（高等登録群） ※3頭1群	かみおき1126（母） かみおき1814（娘） かみおき2185（孫娘）	八木原 茂	前橋市
特別区（高校及び大学校）	つむぎ	吾妻中央高等学校	吾妻郡

※ 第12回全国和牛能力共進会は令和4年10月6～10日に鹿児島県で開催されます。



第3区（若雌の2）山田弘之氏「ばんだい1149」



畜産共進会開催のお知らせ

○東部地域予選会（出品者農場における巡回審査）

(1) 開催日

繁殖和牛の部：令和4年9月12日（月）

乳牛の部：令和4年9月27日（火）

(2) 申込方法

出品を希望される方は、家畜保健衛生所までご連絡ください。

関係書類をお送りします。（申込×切り 9月6日）

○群馬県畜産共進会

山羊の部：令和4年 9月 2日（金） 渋川家畜市場

繁殖和牛の部：令和4年11月 2日（水） 群馬県畜産試験場

乳牛の部：令和4年11月 4日（金） 群馬県畜産試験場



《疾病等の発生に伴う休日等の対応について》

休日等に家畜の異常等が認められた場合は、

家畜保健衛生課あて、下記まで連絡をお願いします。

電話番号 0276-45-2041（24時間対応）

※「やえがさだより」は、群馬県ホームページにも掲載しています。ご活用ください。

※ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、家畜保健衛生課までご連絡ください。